

特集

高齢者が健康で生きがいを持って 暮らせるまちづくり

～ともに長寿と健康を喜び支えあう
豊かな福祉社会をめざして～

在宅介護と介護予防を重点にした

「第5期シルバープラン」を策定

平成24年からは、団塊の世代が高齢期に達しはじめ、3年後には、市民の4人に1人が65歳以上になると予想され、高齢化社会が急速に進んでいます。

市では、平成12年に介護保険制度が施行されてから、「高齢者が健康を保ち、生きがいを持って安心して生活できるやさしいまち」を基本理念に、介護サービスの基盤整備や、高齢者の生きがいづくり、健康づくりの推進などに取り組んできました。

こうした状況のもと、24年度からスタートする「第5期シルバープラン」は、18～20年度の第3期、21～23年度の第4期シルバープランの延長線上に位置付けられ、第3期に掲げた26年度までの目標に向けた最後の3年間になることから、目標達成に向けて、第3期計画から続く「地域包括ケア」の考えに基づき各種施策を継続的かつ着実に取り組んでいきます。

